



# 全日本マスターズで熱戦!! アジアマスターズで日本勢活躍

師走。もうすぐ2017年の酉年は幕を引き、新たな成年を迎える。今年もさまざまなイベントが開かれ、数多くのドラマが演じられた。トラック・フィールドに、ロードレースに。なかでも最終日の10月29日はあいにくの天候で中止を余儀なくされたが、和歌山で10月27～29日に開催された国際・第38回全日本マスターズ選手権大会は、シーズンを締めくくるにふさわしい催しとなった。今回はその続編と、中国で9月に開かれた第20回アジアマスターズ陸上競技選手権大会の成績をお届けする。

## 100歳の100mの力走 富久さん、雨中で32秒62

雨が降りしきるなか、注目の大会最高齢の一人、100歳の富久正二さん（広島）がM100・100mのスタートラインに立った。お目当ての“スター”とあって、拍手の後、水を打った静けさの後に号砲一発。歓声のなかを力走、また力走。前半は同時にスタートしたM90クラスの福島信春さん（93歳・佐賀）と激しいレースを繰り広げた末にゴール。

タイムは!?……マイクで流れたのは「32秒62」（-2.0）。宮崎秀吉さん（京都）のM100の日本記録29秒83はともかく、大会記録32秒57にわずか0秒05及ばず。残念そうな富久さんは「あいにく……。でも、一生懸命に走りました。完走できて良かった。皆さんの（声援の）おかげです。次は世界記録（26秒99）を目標に頑張ります」。

現在は広島県三次市に住む富久さんは1917（大正6）年、兵庫県津名郡（現・洲本市）で生まれた。指導している整体師の貞末啓視さん（67歳）によると、富久さんが陸上（短距離）を始めたのは97歳から。きっかけは4年前に鳥取砂丘へ一緒に旅行に行ったとき、貞末さんの『さあ、ゆっくり走りましょう』の合図で走り出したなかで富久さんの走る姿があまりに見事だったので、マスターズへ誘い込んだとのこと。

練習は週1回だが、朝夕の足踏みステッパーほかのトレーニング（補強運動）を欠かさない。8年前に最愛の妻を亡くし、今は一人暮らし。午前4時

に起床し、掃除、洗濯、買い出しに食事の準備まで、自身でこなす。17年7月の中国マスターズ陸上では、M100・60mで17秒76を破る16秒98の日本記録を打ち立て「和歌山大会で記録を！」と照準を合わせていたのだ。“走る”生きがいでだけではない。現在も近郊の小・中学校の卒業証書などの筆耕を継続中。貞末さんは「練習では100m28秒台を出しており、（富久さんの）希望通り、新記録樹立は実現するでしょう」と話す。100歳の新星、多くの人に希望と勇気を与えた。

広島から富久さんを応援しようと、数十人の人たちが和歌山へやってきて、懸命に声をからした。そのなかの一人に81歳の結城幸子さんの姿も。結城さんは三次市の自宅からマイカーをたった1人で飛ばし、紀三井寺競技場へ乗りつけたのだが、出発したのが10月26日の午後5時。競技場までの

道中、高野山や九度山ほかを見学し、28日正午ごろに目的地に到着した、という。

こちらら富久さんに劣らぬバイタリティーの持ち主だ。「富久さんの力強い走りに感動しました」と結城さんは、富久さんの勇姿に拍手を送った。

## 投てき助永さん快投 立五段跳びは初開催

助永仁美さん（29歳・和歌山）は投てき3種目にエントリーしていたが、最終日のW25・やり投が中止になって、がっかりだ。だが、第2日（10月28日）の砲丸投と円盤投に勝ち、地元のために気を吐いた。

しかも砲丸投は11m86の突き出しで、10m76の日本記録を9年ぶり、5m98の大会記録を書き替え、円盤投も39m06のスローイングで35m57の大会記録を消した。当の助永さんは

### 第6回全日本マスターズロードレース大会（10月1日／滋賀県希望が丘）

【男子】（1位）		【女子】（1位）	
3km		3km	
M30	10分16秒 細川 桂吾（富山）	W30	11分24秒 谷 舞子（兵庫）
M35	10分45秒 村田 修一（岡山）	W40	11分36秒 小河 亜衣（兵庫）
M40	10分33秒 古城 巧太（山口）	W45	13分23秒 吉田真由美（富山）
M45	11分11秒 平田 幸夫（兵庫）	W50	13分37秒 於保 恭子（神奈川）
M50	11分33秒 山本 昌史（兵庫）	W55	14分23秒 木寺 栄子（富山）
M55	13分06秒 西川 啓一（兵庫）	W60	14分34秒 藤田 英子（富山）
M60	11分44秒 吉本 保（兵庫）	W65	16分16秒 矢澤美代子（長野）
M65	12分14秒 足立 正登（兵庫）	5km	
M70	12分40秒 船野 弘（兵庫）	W30	20分14秒 坂口 瑛（富山）
M75	13分42秒 福田 勝三（京都）	W40	22分48秒 川戸 亜子（山口）
M80	21分08秒 五嶋 忠志（大阪）	W45	20分45秒 唐本 由紀（山口）
5km		W50	21分39秒 新堂 祥子（愛媛）
M24	16分22秒 川副 真人（滋賀）	W55	22分13秒 岩本ふみ子（長崎）
M30	16分14秒 福田 将治（山口）	W60	24分36秒 井田美善子（富山）
M35	17分17秒 橋 貴正（富山）		
M40	18分38秒 増田 勝仁（兵庫）		
M45	17分24秒 臼井 隆之（長野）		
M50	17分40秒 寺谷 文弘（兵庫）		
M55	19分40秒 前田 満弘（山口）		
M60	18分23秒 長谷川和正（兵庫）		
M65	21分31秒 本川 幸夫（富山）		
M75	29分34秒 佐藤 良治（滋賀）		

### 第30回全日本マスターズ 都道府県対抗駅伝・総合成績

男子	女子	エルダー
① 愛知（6点）	① 兵庫（6点）	① 兵庫（6点）
② 長野（5点）	② 滋賀（5点）	② 大阪（5点）
③ 兵庫（4点）	③ 奈良（4点）	③ 富山（4点）
④ 山梨（3点）	④ 愛知（3点）	④ 愛知（3点）
⑤ 大分（2点）	⑤ 長崎（2点）	⑤ 京都（2点）
⑥ 岡山（1点）	⑥ 愛媛（1点）	⑥ 大分（1点）

「両種目ともこれくらいの記録ではダメですね。特に円盤投は39m83の日本記録にも届かなかつたし。マスターズといっても納得できない。出直します」と話す。

最も狙っていたのはやり投で、58m51(日本歴代14位)のベストを持つ。もともとは砲丸投で兵庫の中学時代(神戸生田)は全国屈指のブッターだった。近年はやり投で活躍中だが天候の影響で中止が決まり「仕方ないですね」と天を仰いだ。

立五段跳という種目は初お目見え。新種目として注目されたが、好記録が続出した。W40では祐谷瑞穂さん(42

歳・兵庫)が11m63を破る11m90、W55で本間明子さん(55歳・兵庫)が10m45の上をいく10m64、W60は尾崎悦子さん(61歳・広島)が9m69を書き替える10m01と初の10m台を。

期待の大日向暁子さん(67歳・長野)が登場したW65では11m54のジャンプで8m71を大幅に更新。2位の樋渡久子さん(69歳・北海道)も8m75を跳び、4cm従来の日本記録を消した。以上の皆さんの記録は、いずれも日本新だ。大日向さんは「会心の出来ではなかったの」とはいうが、11m台は立派。樋渡さんは右脚腫瘍炎をかばいながらの跳躍だったが、よ

く健闘した。

## 連合会長の鴻池さん 選手としても大活躍

日本マスターズ陸上競技連合会長の鴻池清司さん(80歳)が和歌山から選手として出場、トラックにフィールドに走って、跳んだ。第1日(10月27日)のM80・五段跳では向かい風を押し、10m06で優勝した。この記録は9m51をしのぐ日本新だが、鴻池さんは「残念だった。風が向かいでね。条件が良ければ12m30ぐらいはいけると思っていたのに」。

第2日の80mHは鹿野光正さん(80歳・山形)の17秒22(-0.7)に及ばず、17秒83で2位に。「インターバルが合わず、ハードリングが……。あかん」と、こちらも悔しさをにじませた。2走でバトンを受けた4×100mRも残念ながら4位。レースとは別に台風22号の接近で10月29日の競技を中止にしたことに「残念至極の一言」と連合会長としての鴻池さん。「大会責任者として(中止は)仕方のないことだった」の後「大会運営に携わったみなさんに感謝したい」と結んだ。

大会は終わった。この後、鴻池さんはマスターズ五輪(マスターズピック)の夢を実現させるため、さらなる気持ちで走り続けるだろう。

(次号に続く)



アジアマスターズ4×400mRのM80で日本は金メダルを獲得。4走の田中博男さん(右から2番目)は六冠に輝いた

## アジアマスターズ大会田中さん六冠の大偉業

第20回アジアマスターズ陸上競技選手権大会は9月24日から28日までの5日間、中国ルガオで行われた。日本勢のメダル獲得数は金34、銀28、銅16の計78で中国の522、インドの146に次いで3位だった。青森の田中博男さん(86歳)がM85クラスの100m16秒34(-0.1)をはじめ、200m、400m、800m、リレーの4×100m、4×400mともにアンカーを務め、6冠の偉業を成し遂げた。入賞者の男子選手は別掲の通り。

### 第20回アジアマスターズ 陸上競技選手権 日本男子入賞者 (9月24-28日/中国)

クラス	順位	記録	選手名	年齢	所属
100m	M40 ④	12秒09 (+0.3)	矢澤 恵一(41・長野)		
M50	①	12秒00 (+0.6)	井指 康裕(50・大阪)		
		※予選 11秒95 (+1.9)			
		⑤ 12秒55 (+0.6)	大垣 徹晃(50・神奈川)		
M55	②	13秒04 (+0.5)	齊藤 隆(55・神奈川)		
M60	④	13秒38 (+0.8)	若尾 徳男(62・山梨)		
		※予選 13秒27 (+0.8)			
M65	③	14秒02 (+0.4)	佐々木文夫(65・岩手)		
M70	②	15秒11 (+0.3)	小川 忠治(71・北海道)		
M80	①	16秒54 (-0.2)	一瀬 正治(80・神奈川)		
		② 17秒00 (-0.7)	小野 宗義(81・東京)		
M85	①	16秒34 (-0.1)	田中 博男(86・青森)		
200m	M35	⑥	24秒28 (+0.3)	近藤 房治(35・神奈川)	
M40	⑦	24秒65 (+0.7)	藤田 勝寛(43・神奈川)		
M50	①	24秒32 (+0.6)	井指 康裕(50・大阪)		
		③ 25秒73 (+0.6)	大垣 徹晃(50・神奈川)		
M60	②	26秒45 (+1.5)	鈴木 久夫(60・神奈川)		
		⑤ 27秒78 (+1.5)	若尾 徳男(62・山梨)		
M65	②	29秒06 (+0.8)	佐々木文夫(65・岩手)		
M80	①	35秒90 (+1.1)	小野 宗義(81・東京)		
M85	①	34秒34 (+0.9)	田中 博男(86・青森)		
400m	M35	①	52秒47	島崎 靖治(38・埼玉)	
		⑦ 56秒22	塚口 洋之(39・大阪)		
M40	③	55秒19	藤田 勝寛(43・神奈川)		
M60	②	59秒08★	鈴木 久夫(60・神奈川)		
		③ 1分02秒19	佐藤 隆一(63・東京)		
M65	②	1分08秒27	佐々木文夫(65・岩手)		
M70	③	1分14秒30	小川 忠治(71・北海道)		
M75	④	1分29秒84	白川 一(76・山梨)		
M85	①	1分31秒94★	田中 博男(86・青森)		
800m	M40	①	2分04秒93	高杉 泰範(40・岡山)	
		② 2分09秒41	田村 淳一(43・東京)		
M60	⑤	2分30秒41	佐藤 隆一(63・東京)		
M70	②	2分56秒16	梶野 良夫(70・千葉)		
		⑧ 3分05秒57	小川 忠治(71・北海道)		
M75	③	3分17秒41	白川 一(76・山梨)		
M80	②	3分31秒93	高原 良裕(82・神奈川)		
M85	①	3分50秒77	田中 博男(86・青森)		
1500m	M40	①	4分16秒52	高杉 泰範(40・岡山)	
M75	③	6分28秒39	白川 一(76・山梨)		
80mH	M80	①	23秒48 (+1.1)	堀野 正(82・大阪)	
100mH	M50	①	14秒94 (-1.3)	前田 祥紀(52・長崎)	
110mH	M35	⑦	17秒75 (-1.1)	岡戸 成樹(38・愛知)	
M40	②	17秒18 (-0.4)	伊与田幸謙(44・高知)		
M45	④	18秒28 (-0.1)	小長 賢二(49・長崎)		
200mH	M80	②	50秒09	堀野 正(82・大阪)	
300mH	M60	③	51秒70	佐藤 隆一(63・東京)	
400mH	M35	⑤	1分05秒80	近藤 房治(35・神奈川)	
2000mSC	M70	③	10分19秒07	小川 忠治(71・北海道)	
		M80	①	11分49秒16	高原 良祐(82・神奈川)
5000mW	M70	④	34分27秒44	本 忠義(71・石川)	
走高跳	M70	②	1m20	岡田 正(70・栃木)	
		M80	①	1m10	一瀬 正治(80・神奈川)
		②	1m00	堀野 正(82・大阪)	
棒高跳	M80	①	1m30	堀野 正(82・大阪)	
走幅跳	M50	①	5m50	井指 康裕(50・大阪)	
M55	①	5m61 (+0.5)	齊藤 隆(55・神奈川)		
M65	②	4m25 (-0.3)	原間 裕(67・神奈川)		
M80	①	3m41 (+1.1)	一瀬 正治(80・神奈川)		
三段跳	M65	①	10m05 (+0.4)	原間 裕(67・神奈川)	
		M75	①	7m35 (+1.2)	山口 巖(79・神奈川)
		M80	①	7m49 (±0.0)	一瀬 正治(80・神奈川)
砲丸投	M50	①	11m39	兵頭 重徳(51・愛媛)	
M80	③	7m76	山本 康雄(82・京都)		
円盤投	M75	④	21m95	山口 巖(79・神奈川)	
M80	③	21m13	山本 康雄(82・京都)		
ハンマー投	M80	②	28m17	山本 康雄(82・京都)	
やり投	M45	③	45m72	中根 裕司(48・愛知)	
M75	①	33m21	合田 正(77・愛媛)		
		③ 24m49	山口 巖(79・神奈川)		
M80	②	17m44	小野 宗義(81・東京)		
4×100mR	M65	②	57秒66	(梶野 良夫・70、佐々木文夫・65、小川 忠治・71、原間 裕・67) 日本	
M80	①	1分09秒25	(小野 宗義・81、堀野 正・82、一瀬 正治・80、田中 博男・86) 日本		
4×400mR	M40	⑥	4分10秒86	(矢澤 恵一・41、赤穂谷隆之・44、宮崎 博司・40、疋田 佳彦・49) 日本	
M65	②	4分04秒56	(梶野 良夫・70、原間 裕・67、佐々木文夫・65、小川 忠治・71) 日本		
M80	①	7分25秒62	(小野 宗義・81、堀野 正・82、高原 良祐・82、田中 博男・86) 日本		

★は大会新。女子成績は次号